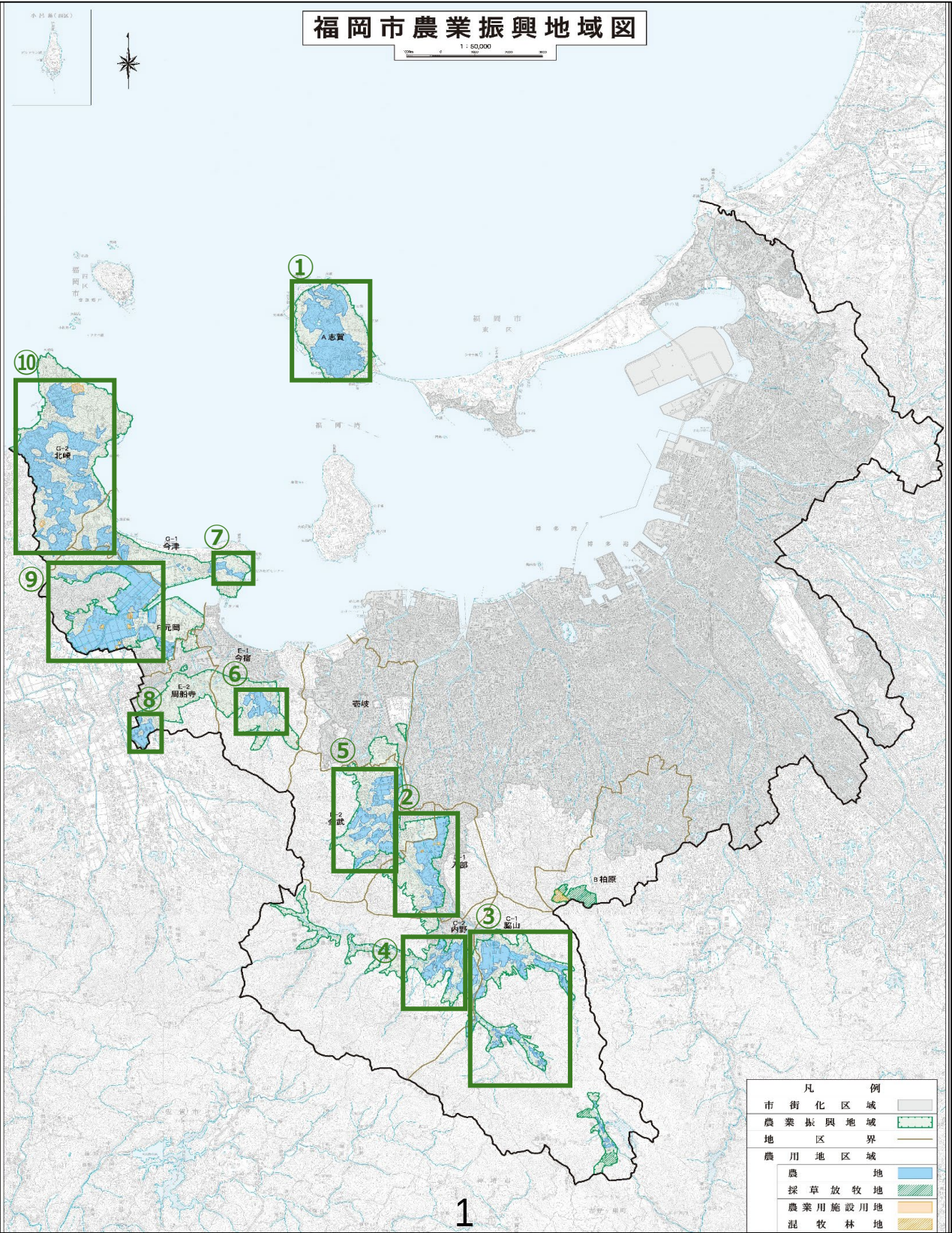


地域計画の策定状況

【地域計画】（農業経営基盤強化促進法）

地域で協議を行い、地域農業の将来のあり方及び農地利用の目指す姿を示す

市内10地域で策定（788経営体・農地626haを位置づけ）



地域	営農状況	将来のあり方（今後の取組み）
① 志賀 （35経営体 農地 17ha）	いちごを中心に、北部では米、傾斜地では柑橘類やびわなど果樹の生産が行われている	研修施設を活用して新規就農者を支援し、認定農業者の確保を図りつつ、特産物を活かした加工品開発やイチゴ狩り、体験型農園、果樹の一本園主や収穫体験などの取組みを行う
② 入部 （82経営体 農地 63ha）	米やキャベツ、軟弱野菜など等の生産が行われ、地区外からの就農者が増えている	農地を担い手を中心に集積していくとともに、近隣農家間で農機具の共同利用を推進するほか、有害鳥獣被害対策を進める
③ 脇山 （94経営体 農地109ha）	米を中心に、中山間地が多く、一部農業者による作業受託が盛ん	担い手となる作業受託組合や個人受託などを中心に農地の集積を推進するとともに、有害鳥獣被害対策を進める
④ 内野 （71経営体 農地 56ha）	米を中心に、たけのこやかとお菜など野菜の生産が盛ん	農機具の共同利用や、食育などの地域活動の連携強化、管内の米のブランド化、有害鳥獣対策などを進める
⑤ 金武 （111経営体 農地 74ha）	米を中心に、大根やカブ、ブドウなどの生産が盛ん	有害鳥獣対策など安心して生産できる環境整備を行い、後継者など多様な担い手を増やし、農地を有効活用するとともに、「かなたけの里公園」と連携し、青空市や地元食材を使用したイベントの開催など、地域活性化への取組みを継続していく
⑥ 今宿 （25経営体 農地 12ha）	米や軟弱野菜、ブドウなどの生産が盛ん	担い手による遊休農地の管理や生産ができる環境を整備するとともに、鳥獣被害対策を進めていく
⑦ 今津 （44経営体 農地 25ha）	米を中心に、いちごや軟弱野菜などの生産が盛ん	安定した作付計画を策定して水田活用を図るとともに、鳥獣被害対策を進め、担い手となる後継者を増やす
⑧ 周船寺 （33経営体 農地 19ha）	米や軟弱野菜、いちごなどの生産が盛ん	担い手・後継者の育成や、有害鳥獣被害対策を進め、安定的な生産体制を構築するとともに、都市化の進展を見据え、新鮮な農産物の供給や直売所などでの地元産のPRを行い、地産地消を推進していく
⑨ 元岡 （177経営体 農地179ha）	米や園芸作物の生産が盛んで、市内有数の大作農家が営農している	有害鳥獣対策を進めるなど安心して生産できる環境を整備し、後継者を増やす
⑩ 北崎 （116経営体 農地 73ha）	畑が多く、大根、スイカ、花卉の生産が盛ん	遊休農地や施設の有効活用を進めるとともに、有害鳥獣対策を進めるなど安心して生産できる環境を整備し、後継者を増やす